

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】令和 2 年 2 月 6 日 (2020.2.6)

【公開番号】特開 2018-106380 (P2018-106380A)
 【公開日】平成 30 年 7 月 5 日 (2018.7.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-025
 【出願番号】特願 2016-251247 (P2016-251247)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 15/02 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 15/02 3 1 5 F

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 18 日 (2019.12.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

演算数と複数の被演算数とを入力する入力部と、

入力部により入力された前記各被演算数を前記演算数で演算した結果である各第 1 結果と各第 2 結果とをそれぞれ合計した第 1 結果合計と第 2 結果合計とを表示させる制御手段と、
 を備えることを特徴とする計算装置。

【請求項 2】

演算は商余り計算であり、

前記第 1 結果は前記被演算数を前記演算数で除算した商であり、

前記第 2 結果は前記被演算数を前記演算数で除算した余りであることを特徴とする請求項 1 に記載の計算装置。

【請求項 3】

前記第 2 結果合計が前記演算数より大きい場合、前記制御手段は第 2 結果合計が前記演算数より小さくなるように、繰り上げを行った後の第 1 結果合計と第 2 結果合計とを表示させることを特徴とする請求項 2 に記載の計算装置。

【請求項 4】

前記入力部は、演算指示キーを備え、

前記制御手段は、前記入力部により表示数値が入力された後に前記演算指示キーが一回だけ入力されると、前記表示数値を被演算数に設定し、その後に入力された別の数値を前記演算数について演算を実行することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか一項に記載の計算装置。

【請求項 5】

前記入力部は、演算指示キーを備え、

前記制御手段は、前記入力部により表示数値が入力された後に前記演算指示キーが連続して入力されると、前記表示数値を演算数に設定し、その後に入力された別の数値を前記各被演算数として演算を実行することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか一項に記載の計算装置。

【請求項 6】

前記演算数が入力された新たな演算において、前記演算数と同じ演算数を用いた演

算が行われると、前記制御手段は、前記第 1 結果合計と前記第 2 結果合計に、前記新たな演算による第 1 結果と第 2 結果を合計して表示させることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか一項に記載の計算装置。

【請求項 7】

計算装置の入力部により入力された各被演算数を演算数で演算した結果である各第 1 結果と各第 2 結果とをそれぞれ合計した第 1 結果合計と第 2 結果合計とを制御手段によって表示させることを特徴とする計算装置の表示方法。

【請求項 8】

計算装置用のプログラムであって、

計算装置の制御手段に、

入力部により入力された各被演算数を演算数で演算した結果である各第 1 結果と各第 2 結果とをそれぞれ合計した第 1 結果合計と第 2 結果合計とを表示させる処理を、少なくとも実行させることを特徴とするプログラム。